

ステップ2の特長

本書は、ステップーを受けて、ひらがなの字形練習のページから始まります。文字と言葉や文とセットで、「読むこと」「なぞること」、そして、「書くこと」へとつなげています。

漢字学習は、読み先習と言われるように、「ぶんのよみ」から始めています。そして、「かんじのかき」で漢字を学び、「ぶんのかき」「わかるかな?」と進みます。

「ぶんのかき」では、右利き、左利きのどちらでも対応できるように、手本の左右に書く形式にしています。つまり、鉛筆を持っている方の手が置かれても、手本を見ることができるようになっています。

学習が変わるページには、「じのかたち」や「かんじのぶぶん」のページを入れました。字形を整えるヒントになっています。

「わかるかな?」では、楽しみながら学ぶ「学習」ページにしています。書字に必要なトレーニング的要素も盛り込んでいます。

一般的に、学習の順序としては、

- ① 聞くことができる
- ② 話すことができる
- ③ 読み書きができる

この順番で学習が進むことで、「できる」ようになっていきます。

しかし、一般的に考えられている「学びやすさ」よりも、その子にあった「学びやすさ」があります。例えば、書字が困難な子は、まずは文章を読むことだけを中心に学習したり、「わかるかな?」のような遊びの要素のある学習で興味をもってもらうことも大切です。

まずは、基本的なページから始めつつ、子どもの発達段階や興味関心などを考慮して、学習を進めていきましょう。

ステップ2・もくじ

じのかたち	．．．．．	6
ぶんのよみ	① ～ ②⑩	7
かんじのぶぶん	．．．．．	30
かんじのかき	① ～ ①⑥	31
じのかたち	．．．．．	48
ぶんのかき	① ～ ②⑩	49
わかるかな?	① ～ ①③	72